

## 《レントゲン撮影 指示書》

合計 6 枚の撮影をよろしくお願ひ致します

### 1. 頸椎側面画像：フィルムサイズ・四ツ切り（A・B・C・各 1 枚）立位又は座位

撮影枚数：合計 3 枚

測 定：環椎横突起を左から右へ

中央光線：環椎の横突起に垂直 フィルムの中央に水平  
ブッキー格子に対し 90 度

焦点距離：100cm

A（側面像）：患者は真っ直ぐな姿勢で立つ 下顎骨は地面に平行にする  
硬口蓋を少し上方に傾ける

B（屈曲像）：側面像に同じ 患者の頭部は身体を動かさずに出来るだけ  
前に傾ける

C（伸展像）：側面像に同じ 患者の頭部は身体を動かさずに出来るだけ  
後方に伸展させる

### 2. 頸椎正面像 フィルムサイズ・四ツ切り（開口像）立位又は座位

撮影枚数：1 枚

測 定：C-2 の歯突起の中心をねらって

中央光線：開口部の 3/1 の部分をフィルムの中心に

焦点距離：100cm

(\*患者への説明) 頭を後ろに傾けないように口を大きく開き閉めてよい  
というまで動かないこと

### 3. 骨盤正面像 フィルムサイズ・大角位以上（骨盤全体を撮影）立位

撮影枚数：1 枚

測 定：坐骨より上を撮影

中央光線：フィルムの中心

焦点距離：100cm

### 4. 骨盤側面像 フィルムサイズ・大角位以上（骨盤全体を撮影）立位

撮影枚数：1 枚

測 定：仙骨より上を撮影

中央光線：フィルムの中心

焦点距離：100cm

(\*患者への説明) 腕を組んで立つこと